

最上で唯一、
洋上の
邸宅公開

The World

洋上の邸宅を手に入れる、
それも世界最高峰の。
旅人の夢を実現する分譲型客船
ザワールドを訪れて。

Invitation
to the
highest grade suite
onboard

Special Report

ザワールドは誕生した
経緯からして特別。

乗客が退去する必要なく、いつでも戻ってこ
られ、常時洋上に浮かぶ街に自己所有の住ま
いを構える世界を実現する方法はないかとい
う発想でプロジェクトはスタートした。

文・茂木政次
Text by Masatsugu Mogi



1

Luxury Residences

上質なレジデンス

くつろぎの我が家を演出する
さまざまなインテリア

- 1:あえてコンテンポラリーなインテリアを楽しむオーナーも。部屋ごとにスタイルを変えて楽しむという方法も楽しい。
- 2:スタジオタイプのベッドルームとバスルームがガラスで仕切られたスタイル。開放感を最大限に追求したデザインとして人気。
- 3:機能的にまとめられたバスルーム。リネン類はもちろん毎日交換されるので、ホテルライクな滞在が可能。
- 4:ほとんどのレジデンスには本格的なキッチンが。インルームダイニングを楽しむオーナーも多い。
- 5:一番の特等席はプライベートバルコニー。洋上の邸宅気分を満喫するにはルームサービスによる朝食が最適だ。



Three Bedrooms (181m²)



Two Bedrooms (102.8m²)



Two Bedrooms (82.5m²)



2



3



4

100の港を一年で巡る洋上のレジデンス

長期間の滞在でも快適に暮らせること、上質なコミュニティが育まれることに最も注力してきたザワールドのレジデンスは、わずか165室。オーナーは世界各国に存在し、日本人も数名が存在する。通年滞在するオーナーもいるが、それぞれの都合で区間乗船を楽しむオーナーも多いという。ドレスや趣味の道具、家族の写真はレジデンスに置いておき、気が向いたら軽装で寄港先に向かえばいいのは何とも贅沢。さて、憧れのレジデンスの権利を購入するには、スタジオタイプ(26.9㎡)で1億9千万円、2ベッドルームタイプ(102.8㎡)で4億円程度が目安と

なる。多くのオーナーはレジデンス購入後に手を加え、ヨーロッパの伝統的なスタイル、モダンアートが映える空間、往年の帆船を模したリビングなど、レジデンスごとのインテリアは百花繚乱。スタジオタイプを所有していたオーナーが隣のレジデンスを追加購入の後、自室の壁を撤去して改築するという大掛かりな施工例もあるという。予算とアイデアがあればオーナーの意向を100%具体化できるのが洋上の邸宅ザワールドの最大の特徴だろう。



5



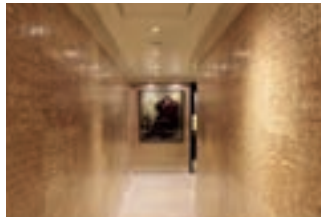
ホームパーティーのために
リビングは広く、そして開放的に

上:バリのアパルトマンのような
クラシックな装いのレジデンス。
ここが船の上であることを
忘れてしまいそうな空間。
下:ソファとライティングデスクは
水平線を臨むレイアウトに。
窓の外の景色が毎日変化するの
はザワールドにしかない特別な価値。

ふれあいと語らい。優美な旅を共有する場所

ザワールドでは、シーンに合わせて6つのレストランから選択可能で、そのひとつEASTでは寿司やアジア創作料理も楽しめるほか、船尾にあるレストラン Marina のグリル料理は特に人気だ。ほとんどのレジデンスがフルキッチンを持っているのでインルームダイニングを楽しむオーナーも多く、デリカテッセンにはワイン、チーズ、サラダなどの上質な食材が充実している。また、アクティビティ施設としてマリンスポーツはもとよりゴルフシミュレーター、フルサイズのテニスコート、スパ

が備わり豊かなライフスタイルをサポートする。60人ほど存在するというゴルフ好きなオーナーのためにはシミュレーターとレッスンプロは不可欠なのだそう。まさに、オーナーたちのための洋上の宮殿という感じだが、忘れてならないのは彼らの姿勢だ。各レジデンスのエントランス前にはオーナーが選んだアートを飾り雰囲気づくりに役かう、オーナーがホストになりクルーをもてなすパーティーが実施されるなど、最高峰のレジデンスシップにはオーナーたちの一流の振る舞いがあふれていた。



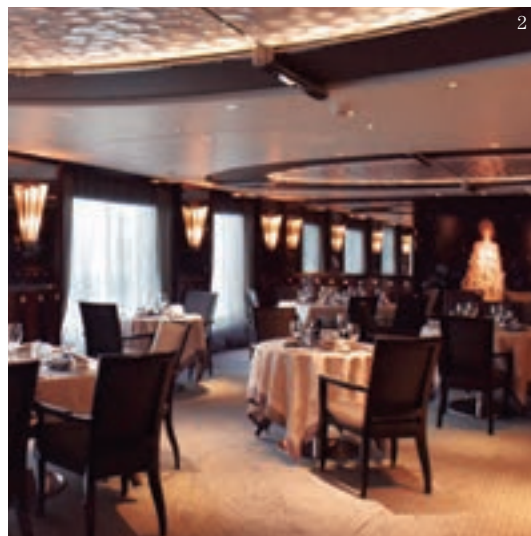
1

Public Space パブリックスペース

乗りながら世界の味が
堪能できる贅沢

- 1: 75席あるレストランTide。昼は地中海料理、夜はイタリアンをメインに寄港エリアの食材も提供される。
- 2: 最も格式が高いPortraits。1800種類を超えるワインを取りそろえ特別な夜を演出する。
- 3: Tideのアウトサイドテーブル。航跡を眺めることができる船尾の特等席。
- 4: アートで演出されたパブリックスペース。
- 5: 必要な食材やワインがそろうデリカテッセン。寄航地のローカルな食材、日本寄港の際にはうどんや和菓子なども販売され、楽しい。ワインとキャビアの品ぞろえは圧巻。

photo by Masatsugu Mogi



2



3



4



5



Ship Data

ザワールド
運航会社：ザワールド
総トン数：43,524トン
全長／全幅：196／29.8メートル
乗客定員／乗組員数：375／270人
就航：2002年
問い合わせ：インターナショナル・クルーズ・マーケティング株式会社
TEL 03-5405-9213
http://icm-japan.co.jp/theworld (日本語版)
http://aboardtheworld.com (英語版)



上質なコミュニティ、
それこそが、ザワールドの価値。

上: 晴天時はマリンスポーツのベースとして使用されるマリナ。夜はプールに床が張られてグリルレストランに変身する。
下: 航路は全てのオーナーによる投票で決めるというあたりにコミュニティ重視の姿勢が見てとれる。
これこそが、ザワールドの最も価値のある部分ではないだろうか。

